

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
1	2024通年	医学教育部(26020)	1, 2, 3, 4	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
研究倫理・生命倫理学 (博士) (2023年度以降入学者用) 【Research Ethics and Biomedical Ethics】 (生命倫理、研究倫理、医療倫理 博士A1・修士A5)			門岡 康弘		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力……50% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力……50%					
授業の形態	講義				
授業の方法	研究倫理の基本事項はeAPRINを用いてオンライン学習する。それ以外の内容についてはアクティブラーニングを採用し、ディスカッション、プレゼンテーション、コメント/レポート作成などを行う				
授業の目的	1. 健全な大学院研究を実施できるようになる。 2. 生命倫理学を理解し、大学院研究や将来のキャリアに活用できるようにする				
学修目標	【A水準】 倫理的課題に適切に対応できる。具体的には、学際的にアプローチし、豊富な知識に基づいて推論を展開、バランスの取れた意思決定を行うことができる 【C水準】 生命倫理学を理解し、研究倫理や医療倫理の実践に必要な知識を備えている				
授業の概要	研究倫理と医療倫理をふくむ生命倫理学を系統的に学習する。関連する知識だけでなく、医学研究や医療実践の場面で活用するためのスキルを獲得する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		研究公正の基礎 1	eAPRIN: 単元「責任ある研究者の行為について」、「研究における不正行為」、「データの扱い」【eEJ-0】		
2		研究公正の基礎 2	eAPRIN: 単元「共同研究のルール」、「利益相反」、「オーサーシップ」【eEJ-0】		
3		研究公正の基礎 3	eAPRIN: 単元「盗用と見なされる行為」、「社会への情報発信」、「ピア・レビュー」【eEJ-0】		
4		研究公正の基礎 4	eAPRIN: 単元「メンタリング」、「公的研究費の取扱い」、「責任ある研究行為ダイジェスト」【eEJ-0】		
5		研究対象者保護の基礎 5	eAPRIN: 単元「生命倫理学の歴史と原則、そしてルール作りへ」、「研究倫理審査委員会による審査」、「研究における個人に関わる情報の取り扱い」【eEJ-0】		
6		研究対象者保護の基礎 6	eAPRIN: 単元「人を対象としたゲノム・遺伝子解析研究」、「研究で生じる集団の被害」、「研究におけるインフォームド・コンセント」【eEJ-0】		
7		研究対象者保護の基礎 7	eAPRIN: 単元「特別な配慮を要する研究対象者」、「カルテ等の診療記録を用いた研究」、「生命医科学研究者のための社会科学・行動科学」【eEJ-0】		
8		研究対象者保護の基礎 8	eAPRIN: 単元「国際研究」、「多能性幹細胞研究の倫理 I・II」、「人を対象とする医学系研究」、「人を対象とした研究ダイジェスト」【eEJ-0】		
9	07/25	研究倫理の強化授業 1 4 限	教員が設定した学習テーマについてアクティブラーニングを行う (対面授業)		
10	08/01	研究倫理の強化授業 2 4 限	教員が設定した学習テーマについてアクティブラーニングを行う (対面授業)		
11	08/22	研究倫理の強化授業 3 4 限	教員が設定した学習テーマについてアクティブラーニングを行う (対面授業)		
12	08/29	医療倫理・臨床倫理 1 4 限	教員が設定した学習テーマについてアクティブラーニングを行う (対面授業)		
13	09/05	医療倫理・臨床倫理 2 4 限	教員が設定した学習テーマについてアクティブラーニングを行う (対面授業)		
14	09/12	医療倫理・臨床倫理 3 4 限	教員が設定した学習テーマについてアクティブラーニングを行う (対面授業)		
15	09/19	医療倫理・臨床倫理 4 4 限	教員が設定した学習テーマについてアクティブラーニングを行う (対面授業)		
授業外学修時間の目安	本科目は2単科目で、全体で90時間分の学習が必要な内容で構成される。授業では、2h×15コマ=30時間の学習を行うため、残り60時間については受講生は自己学習を行うことになる。その方法として、論文や書籍など資料の精読、他の大学院生や教員との意見交換などを推奨する				
テキスト	eAPRINの教材を用いて研究倫理の基礎を学習する。それ以外については特に指定しない。また、授業毎に担当教員が資料などを配布する				
参考文献	Principles of Biomedical Ethics. Beauchamp TL and Childress JF. OXFORD University Press. Bioethics Briefings. The Hastings Center. https://www.thehastingscenter.org/publications-resources/hastings-center-bioethics-briefings/ Responsible Conduct of Research. Shamoo AE and Resnik DB. OXFORD University Press. The Oxford Textbook of Clinical Research Ethics. Emanuel EJ, Crady C et al eds. OXFORD University Press. Medical Ethics Today. British Medical Association Ethics Department. Wiley-Blackwell. Resolving Ethical Dilemmas A Guide for Clinicians. Lo B. LWW. シリーズ生命倫理学1~20巻. シリーズ生命倫理学編集委員会編. 丸善. 入門・医療倫理 I~III. 赤林朗編. 勁草書房				
履修条件	医学、生命科学、医療に関する基本的知識を有すること				
評価方法・基準	eAPRIN(CITI)の点数: 30% 各授業における学習態度や理解度: 70% 合計60%以上が合格となる				

教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト
実務経験を 活かした授業	該当 (生命倫理学の学位を取得し、関連する教育、研究倫理と医療倫理の実践経験をもつ担当教員が、一般的な講義、アクティブラーニングやオンライン学習などいくつかの方法を組み合わせで開講する)